

平成 28 年日本熱物性学会第 3 回 (2016-3) 役員会議事録

日時：平成 28 年 9 月 17 日(土) 役員会 14：03～15：39

場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 研究棟 5F 大会議室

出席者：(五十音順・敬称略)

遠藤亮(東レリサーチセンター)	小川光恵(ファインセラミックスセンター)
小口幸成(鷗友学園)	小田究(名古屋市工業研究所)
小畑良洋(鳥取大学)	小原拓(東北大学)
桑原正史(産総研)	小林一道(北海道大学)
小宮敦樹(東北大学)	杉山久仁子(横浜国立大学)
鈴木賢紀(大阪大学)	高田保之(九州大学)
長坂雄次(慶應義塾大学)	日野裕之(パナソニック)
堀部明彦(岡山大)	牧野俊郎(近畿職業能力開発大学校)
宮崎康次(九州工業大学)	桃木悟(長崎大学)
森川淳子(東京工大)	山田純(芝浦工業大学)
山田修史(産総研)	山田雅彦(北海道大学) 22 名

審議事項：

高田会長が一時不在のため、小原副会長より開始の挨拶があり、配布資料の確認が行われた。

議 題：

(1) 前回議事録確認……………資料番号:16-4-1

小宮評議員より、資料 16-4-1 に基づき前回議事録の確認がありました承された。

(2) 第 37 回日本熱物性シンポジウムについて……………資料番号:16-4-2

堀部第 37 回シンポジウム担当より、シンポジウムの準備状況について報告がなされた。助成金として八雲環境科学財団からの助成金に採択された旨の報告があった。発表件数について、1 件キャンセルがあり、特別講演を含めて最終的に 110 件となった旨の報告があった。特別講演内容についての詳細も説明があり、また座長も問題なく決定し、滞りなく運営が進んでいるとのこと。

宿泊施設に関して質問があり、早めに予約が必要との回答があった。

(3) 総会に関する事項……………資料番号:16-4-3-1~3

平成 28 年学会賞候補者・名誉員顕彰者

長坂表彰委員会委員長より、資料 16-4-3-1 に基づき、平成 28 年論文賞 1 件、奨励賞 2 名、功労賞 2 名、貢献賞 1 名の候補について報告があった。奨励賞 2 名については、審査の結果、甲乙つけ難く 2 名の授賞とした旨の報告があった。一部誤植等の修正を行うことで、これについて了承した。

第 38 期役員候補者について

小原事務局担当副会長より、資料 16-4-3-2 に基づき、第 38 期評議員候補者が提示された。続いて、直

前の理事会にて推薦のあった会長・副会長・監事の候補者リストが紹介され、会長は山田純先生、副会長は大村高弘先生、監事は山田盛二先生の案が了承され、第37回総会で諮られることとなった。

総会資料と進め方

小原事務局担当副会長より、資料16-4-3-3に基づき、第37回シンポジウム期間中に開催される総会の資料案および進行表案が提示され、一部修正の後に了承された。第5号議案の各種委員会委員長については、概ね提案内容を了承し、東京連絡事務担当については、事務局担当副会長が東京地区になるため、削除することを了承した。また、会員情報担当については、会費の収納業務の委託先変更に伴い、名称を変更した担当が就くこととなった。総会資料で誤字・脱字等があった場合は、事務局に連絡をするよう依頼があった。

(4)第38回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:16-4-4

山田熱物性情報担当より、第38回シンポジウムの準備状況について報告があった。実行委員会のキックオフミーティング（委員長1名、委員12名）を実施した旨の報告があった。各種期日についての予定を検討し、全体のタイムスケジュールを確認した。

(5)第39回日本熱物性シンポジウムについて

第39回シンポジウムについての開催地区について意見交換があった。

(6)ATPC2016 準備状況……………資料番号:16-4-5

長坂実行委員長より、資料16-4-5に基づき、ATPC2016の準備状況について報告があった。プログラムの最終版が提示され、最大8セッションの平行およびポスターセッションで実施される旨の報告があった。3つの賞の表彰については、ClosingではなくBanquet中に行うこととした。学生の賞についてはClosingで授賞予定。次回ATPCは2019年に西安で行うとの連絡があった。参加申し込み状況の内訳についてもリストの提示があり、約400件の発表が見込まれるとの報告があった。

(7)各種委員会報告……………資料番号:16-4-6-1~4

編集委員会

代理として小原事務局担当副会長より、資料16-4-6-1に基づいて、活動報告があった。11月号(Vol.30, No.4)の目次案が提示され、論文に関しては2件掲載予定とのこと。ATPC2016に関する記事も掲載する方向で進んでいるとの報告があった。

表彰委員会

長坂表彰委員会委員長より、資料16-4-6-2に基づいて、活動報告があった。内規改正についての最終版の報告があった。

広報委員会

宮崎広報担当より、資料16-4-6-3に基づいて活動報告があった。HPの整備、メーリングリストの運用についての活動報告がなされた。9月16日に開催されたフォノンをテーマとした講習会の報告があり、24名の参加のもと、ハンドブックの販売が14冊との報告があった。

熱物性値サービス委員会

山田熱物性情報担当より活動報告がなされた。システムは問題なく稼働しており、半年で約 1,000 件のアクセスがあった旨の報告があり、最終報告は次回の理事会・役員会で行うとのこと。

活動委員会

桃木企画担当より、資料 16-4-6-4 に基づいて活動報告があった。BPA に関する活動についての報告があった。採点表案が提示され、第 37 回熱物性シンポジウムでは提示のあった審査内容で、各発表 3 名の審査員で進めていくとの報告があった。ATPC2016 の採点表は、提示のあった採点表に準じたものを作成し進めていくとのこと。

(8)研究分科会報告……………資料番号:16-4-7-1~3

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

代理として小原事務局担当副会長より報告があった。

高温融体物性と材料プロセス

今回はアップデートの報告はないとの連絡があった。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

代理として宮崎広報担当より報告があった。

断熱材分科会

代理として小宮評議員より、活動報告と今後の予定に関する説明があった。

(9)来期以降の会費収納業務について……………資料番号:16-4-8

小原事務局担当副会長より、資料 16-4-8 に基づいて会費収納業務委託契約書（案）の提案があった。次期以降の NPO 法人（日本熱科学研究支援機構）への委託事業について全条文の詳細説明があり、これについて了承した。会員への告知としては総会で案内するとともに、11 月号に案内を同封し、案内には会費納入口座変更の他、変更となった経緯についても説明することとした。また、振込負担金は会員が支払うものとし、振込時には会員番号を付すように依頼することにした。告知の内容については、まずは目立つように変更の旨を記載した方がよいとの提案があった。

(10)事務局報告……………資料番号:16-4-9-1~2

小原事務局担当副会長より、資料 16-4-9-1~2 に基づいて、協賛関係、会員異動について報告がなされた。

(11)その他

特になし。

以上